

科目	保健	単位	1 単位	学年	1 年
使用教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)			副教材等	最新高等学校保健体育ノート(大修館書店)

学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を養う。
---------	---

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断	c. 運動の技能	d. 知識・理解
個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つたり、整理したりするなどして、それらを説明している。	/	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

年	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1 年	4	第 1 章 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方が変化していること説明できる。健康を成り立たせている要因をあげることができる。</li> <li>わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。わが国の現在の健康問題をあげることができる。</li> <li>健康に関する意思決定・行動選択の重要性を説明できる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。</li> <li>生活習慣病とその予防</li> </ul>	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> <li>プリント、課題の内容・提出状況</li> <li>レポート</li> </ul>
		1. 健康の考え方と成り立ち (教 p. 8~9)		○	○		○	
		2. 私たちの健康のすがた (教 p. 10~11)		○	○		○	
		3. 健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり (教 p. 12~15)		○	○		○	
	5	4. 生活主観病とその予防 (教 p. 16~17)	○	○		○		
		5. 食事と健康 (教 p. 18~21)	○	○		○		
		6. 運動・休養と健康 (教 p. 22~23)	○	○		○		
		7. 喫煙と健康 (教 p. 24~27)	○	○		○		
1	8. 飲酒と健康 (教 p. 28~31)	○	○		○			
	9. 薬物乱用と健康 (教 p. 32~35)	○	○		○			
2	9	10. 感染症とその予防 (教 p. 36~39)	○	○		○		
		11. 性感染症・エイズとその予防 (教 p. 40~41)	○	○		○		
	10	12. 欲求と適応機制 (教 p. 42~43)	○	○		○		
		13. 心身の相関とストレス (教 p. 44~45)	○	○		○		
				○	○		○	

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
3		14. 心の健康のために (教 p. 46~49)	・ストレスへのさまざまな対処方法の例をあげることができる。自己実現と心の健康の関係を説明できる。	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・定期考査</li> <li>・プリント、課題の内容・提出状況</li> <li>・レポート</li> </ul>
	12	15. 交通事故の現状と要因 (教 p. 50~51)	・若者の交通事故の特徴を説明できる。交通事故の発生に関係する要因を例をあげて説明できる。	○	○		○	
		16. 交通事故を防ぐために (教 p. 52~55)	・運転者に必要な資質と責任を説明できる。安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できる。	○	○		○	
	1	17. 応急手当の意義とその基本 (教 p. 56~57)	・適切な応急手当の意義を説明できる。傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。	○	○		○	
	2	18. 日常的な応急手当 (教 p. 58~59)	・日常的なけがの応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。	○	○		○	
	3	19. 心肺蘇生法の原理とおこない方 (教 p. 60~62)	・胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる。	○	○		○	